

企業・経営の意思決定問題の研究 (品質管理を中心にして)

[4年] NISHIO Atsuto
西尾 篤人

■ゼミナールの目的・内容

グローバル化の進む中、自動車製造企業のリコールや食品の偽装問題に見られるように、一企業の品質問題が国際問題に発展するケースも少なくない。製造業から始まった品質管理(Quality Control)は、サービス業、非営利組織へと適用を広げ Quality Management と呼ばれるようになった。さらに近年では、Quality of Management として、経営(組織)の質の問題としてとらえられるようになってきた。

本ゼミナールでは、品質管理の基礎を修得するとともに、具体的な事例の研究を通して、企業の意思決定過程を学ぶ。

具体的には、品質管理に関して各自で興味を持っているテーマ(企業)を選び、その内容を掘り下げながら専門知識を身に付けていく。

■募集人数

若干名。

■募集方法

3年ゼミナールの継続が前提である。原則として春募集で面接を実施。

問題意識を持ち、しかも研究意欲のある者を優先させる。

■ゼミナールの運営方法

ゼミナール論文の作成を中心に活動する。

■関連する科目

経営統計論、経営科学、経営学総論、経営戦略論、経営管理論、経営組織論、生産管理論

■成績評価の方法

筆記試験は実施しない。ゼミナールでの発表の内容と態度、質疑応答の内容、ゼミ行事への参加、期末レポートの提出などを総合的に評価する。

出席を重視するのは当然である。病気等でやむを得ずゼミナールを欠席する場合は、必ずメールを入れること。

■担当教員からの一言

ゼミナールは学生中心の、学生が作り上げる授業である。学問的な側面だけでなく、学生間のコミュニケーションを通じたチームワークの形成や相互啓発も重要な課題である。また、教員とのコミュニケーションにより、講義以外の何かを発見してくれれば幸いである。

学問的には、各自が興味あるテーマを取り上げ、その内容を掘り下げていく姿勢が重要である。

大学生生活後半の学習計画をしっかりと立てて、積極的にゼミに参加して欲しい。

授業の間に一度は発言すること。

■教科書・参考書

秋の面接時に初歩的なテキストを紹介する。

ゼミナールには、必要に応じ資料を配付する。